



子どもの“好き”を伸ばす、きっかけづくりに。

子どもは 風の子

Early Bird Club

2016.5.6

春の早起き元気塾

AM7:00

子どもたちの歓喜の声
林試の森公園に響く

みんな元気

桜が咲く朝、Early Bird Clubの「春の早起き元気塾」に参加させて頂きました。てっきり子どもたちも私と同じで眠いのかしらと思っていたら、眠いのは私だけでした。

春の早起き元気塾

春の早起き元気塾とは、子どもの教育に携わって40年、NHK等でおなじみの中山康夫さんと一緒に、鬼ごっこやかくれんぼ、みんなで朝から元気一杯に見つけた！できた！を経験する3日間のプログラムです。私が参加した日は、スポーツチャンバラとしっぽ取りをする回でした。

スポーツチャンバラ

皆さんは、スポーツチャンバラをご存知ですか？私が子どもの頃は、新聞紙を何重にも細く棒状に丸めてセロハンテープで止めたものを「刀」に見立ててチャンバラごっこをしましたが、スポーツチャンバラはまったく違うんです！写真のとおり、カッコいいけど当たっても痛くないおもちゃの「剣」を使って、子どもたちは真剣な表情で侍気分！

しっぽ取り

皆さん、何かわかりますか？ケイドロに似ているでしょうか？しっぽをつけた鬼に捕まっても、誰かがしっぽをつかんだら全員解放！みんな、捕まったお友達を助けるために一生懸命。仲間意識が芽生えていました。



女の子も男の子もみんな剣士！



しっぽ取りのやり方は？？？

Early Bird Club

「その日その子が発見したものでできたことをたくさんほめます。嬉しかったこと、悲しかったこと、夢中になったこと、感じたことをみんなでたくさん話します。会話を楽しむというごくありふれた当たり前の幸せをたくさん味わってほしいと思います。」と、Early Bird Club 設立者のウートン由依子さん。



自己肯定感

ウートン由依さんは言います。「子ども達には自分が大好きな自己肯定感の高い大人になってほしい」と。仕事や人間関係など、人生の様々な場面で自己肯定感の有無や高低が影響を及ぼすことが分かっています。自己肯定感の低い子どもは、自分の将来に希望が持てず、結果的にやりたいことや得意なことを見つけられないまま、進学・就職などを経て大人になるそうです。自己肯定感、幼少期の経験が非常に重要だと言われています。



2016 年度年間プログラム



「のびのびと育ってほしい すきを見つけてのびしてゆきたい」。Early Bird Club では、毎月様々なプログラムが実施されています。たとえば、5 月は「母の日 家族撮影会 アメリカクラフト付き」、6 月はアメリカで人気のある Tie-Dye（T シャツの絞り染め）。夏休みの 8 月には、今回登場した中山康夫さんが再登場！ などなど、とっても楽しいイベントが盛りだくさんです！



輝く目

私が子どもの頃は、同じ年頃の友達だけでなく、自分より小さな近所の友達も入り混じって野山を駆け回っていました。今はすっかり見かけなくなったその光景が Early Bird Club にはありました。子どもたちの生き生きとした表情、はしゃぐ声。通りがかる人たち誰もが足を止めて微笑ましく見つめていました。この子たちがこのまますくすくと成長していけるよう、私たち大人がもっと頑張らないと。そう強く思った朝のひと時でした。またお邪魔します！